

第 2 回けせんぬま防災フェスタに参加しました(2018/11/25)

テーマ：地域防災、防災教育
場所：階上公民館（宮城県気仙沼市）

11月25日(日)、気仙沼市にある階上公民館を会場にして、第2回けせんぬま防災フェスタが開催されました（主催：けせんぬま防災フェスタ やってみっ課、共催：気仙沼市、気仙沼市自主防災組織連絡協議会、後援：東北大学災害科学国際研究所ほか）。

この「けせんぬま防災フェスタ」は、第2次気仙沼市総合計画を策定する過程において「これからの気仙沼を描く作戦会議！」防災チームの市民を中心としたメンバーが実行委員会を組織して企画されたもので、昨年にひきつづき第2回目となります。今回は、「防災×こども」がテーマで、気仙沼市立階上中学校の生徒による「『自助・共助』の学びと『つながり』の大切さを考える」、階上小学校児童による「ここは危険！でもあすこはお気に入り！5年生が選ぶ『防災復興マップ、ランキング！』」、並びに気仙沼市立条南中学校生徒による「災害対策の10提案」の意見発表がありました。

また、市民グループ等による災害時における食事（サバメシ）体験や調理方法の指導、乳幼児の対応や、けが人等の移動方法などについて出席者の参加を得て実施されました。参加された方々は、その手法を改めて確認、万が一の際には活用したいとの感想を述べていました。

当研究所の気仙沼分室からは、「もしも」に備える防災クイズ 『地震だ！どうする？どうもくん』」（監修：佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門））を出展し、多くの生徒・児童や市民に挑戦していただきました。

会場には、100人ほどの方がおとずれ、防災への関心や学びを高められていました



会場の様子



災害科学国際研究所・気仙沼分室が
出展したブース

文責：熊谷成一（気仙沼分室）、佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）